

# CCPをバージョン15にアップグレードするための ステップバイステップガイド

## 内容

---

## はじめに

このドキュメントでは、バージョン12.5、12.5 SU1、12.5 SU2、および12.5 SU3から15.0へのCustomer Collaboration Platform(CCP)のアップグレード手順について説明します。アップグレードの失敗を防ぐには、正しい手順に従ってください。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Customer Collaboration Platform ( CCP )
- VMware ESXi

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- CCPバージョン12.5 SU3
- VMware ESXi 7.0

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

### 背景情報

CCP 15.0へのアップグレードは、バージョンCCPバージョン12.5(1)、12.5(1) SU1、12.5(1) SU2、および12.5(1) SU3からのみ可能です

- 『CCP Install and Upgrade Guide, Release 15.0』の説明に従って、COPファイルをインストールするアップグレード前タスクを実行します。

Table 3. Release Versions and COP Files for Customer Collaboration Platform

Version	Release 15.0 Pre-Upgrade COP Name
12.5(1)	ciscooccp.keymanagement.v01.cop.sgn ciscooccp.15.0.PREUPGRADE- ApacheSolandraMigration.170.cop.sgn
12.5(1) SU1	ciscooccp.keymanagement.v02.cop.sgn ciscooccp.15.0.PREUPGRADE- ApacheSolandraMigration.170.cop.sgn
12.5(1) SU2	ciscooccp.keymanagement.v02.cop.sgn ciscooccp.15.0.PREUPGRADE- ApacheSolandraMigration.170.cop.sgn
12.5(1) SU3	ciscooccp.15.0.PREUPGRADE- ApacheSolandraMigration.170.cop.sgn

- COPファイルのインストールとアップグレードは必ずCLIからのみ実行してください。
- CCPがLinuxファイルシステムext4で実行されていることを確認します。ext3で実行している場合は、バージョン15にアップグレードする前にサーバを再構築します。所定のコマンドを使用して、ファイルシステムのバージョンを確認します。show tech system kernel modules

```
ip_tables      27126  3  iptable_filter,iptable_mangl
ext4           584133  4
mbcache        14958  1  ext4
jbd2           107486  1  ext4
sr_mod         22416  0
cdrom          42600  1  sr_mod
ata_generic    12923  0
ata_acpi       13053  0
```

- アップグレードを実行する前に正常なDRSバックアップを作成する
- Esxiバージョン7.0以降でUCCX VMを実行していることを確認します。そうでない場合、15へのアップグレードは失敗します。

## 設定

### ステップ1:UCCXとの互換性

UCCX 15の互換性マトリクスのドキュメントに記載されているように、アップグレードを開始す

る前に、UCCXおよびその他の関連サーバとのCCPの互換性を確認してください。

#### Solution Products and Components

Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) and Business Edition 6000 and 7000 <sup>(FN 1)</sup>			Gateways for Outbound Agent and IVR <sup>(FN2,4)</sup>	Customer Collaboration Platform (CCP) <sup>(FN6)</sup>	Cisco Instant Messaging and Presence (IM&P) <sup>(FN5)</sup>	Cisco Smart Software Manager On-Prem (Cisco SSM On-Prem) <sup>(FN 8)</sup>
12.x	14 <sup>(FN 9)</sup>	15				
12.5(1)	14.0	15.0	Router Series ■ 43XX ■ 44XX ■ Catalyst 8200, 8300, and 8500 Cisco IOS <sup>(FN 3)</sup> ■ 17.6 ■ 17.9 ■ 17.10 ■ 17.11 ■ 17.12 ■ 17.13 ■ 17.14 ■ 17.15	15.0	■ 12.5(1) ■ 14.X	9-202412 <sup>(FN 7)</sup>

#### ステップ2 : アップグレード前のタスク

- 現在のバージョンがCCP 12.5 SU3であることを確認し、CCP 15にアップグレードする前にcopファイル「[ciscoccp.1501.PREUPGRADE-ApacheSolandraMigration.170.cop.sgn](#)」をインストールします
- Copファイル「ciscoccp.1501.PREUPGRADE-ApacheSolandraMigration.170.cop.sgn」をダウンロードした後、SFTPサーバに保存すると、CCPアップグレードを開始するときに、SFTPサーバからCCPがCOPを選択できるように、SFTPのIPアドレス、SFTPサーバのユーザ名、パスワード、ディレクトリを指定できます。
- まず、COPファイル「ciscoccp.1501.PREUPGRADE-ApacheSolandraMigration.170.cop.sgn」をCLI経由でサーバにインストールします。コマンドはutils system upgrade initiateを使用します。  
。
- CLIコマンドshow version activeを実行して、正しくインストールされているかどうかを確認します。

```
admin:
admin:
admin:show version active
Active Master Version: 12.5.1.11003-470
Active Version Installed Software Options:
ciscoccp.1501.PREUPGRADE-ApacheSolandraMigration.170.cop
admin:
admin:
```

ステップ3:OVA要件に従ってゲストOS、vRAM、およびビデオメモリを変更します。

### 1. CCPサーバのシャットダウン

2. ゲストOSをAlma Linux 8 ( 64ビット ) または他のLinux ( 64ビット ) のいずれかに変更します。

3. 小規模な導入では、vRAMを8 GBから10 GBに変更します。大規模導入では、14 GBのvRAMを設定する必要があります。CCP仮想化ガイドを確認する

### Version 15.0

[\(top\)](#)

Supported Versions of VMware vSphere ESXi= 7.0 and above (inclusive of all updates)						
Component & Capacity Point	VM Configuration Requirements <a href="#">click to download OVA file for this version</a>					
	vCPU	Megahertz (MHz)	Physical CPU Base Frequency	vRAM	vDisk	vNIC
Small deployment option	2	4390	2.50 GHz	10 GB	2 x 80 GB	1
Large deployment option	4	8000	2.50 GHz	14 GB	1 x 146GB 1 x 256GB	1

Notes:

- For more details, see [Notes for VM Configurations and IOPS](#) or [Notes for Megahertz Sizing](#).
- For all other details on hardware and VMware support, refer to [Cisco Collaboration Infrastructure](#).
- Refer to [Quote Collab](#) for modeling VM placement on a user defined hardware configuration.

4. (設定の編集 ->仮想マシンのプロパティ ->仮想ハードウェア ->ビデオカードの選択 ->カスタム設定の指定 ->ビデオメモリ合計を8 MBに設定)に移動して、ビデオメモリ合計を8 MBを増やします

### 5. 仮想マシンの電源をオンにします

ステップ4:vmtoolsを更新して開く

1. VMタイプがopen-vm-toolsであることを確認します。utils vmtools statusコマンドを使用して、vm-toolsのタイプを確認します。utils vmtools switch openコマンドを実行して、VMタイプを変更します

```
admin:
admin:
admin:utils vmtools switch
      utils vmtools switch native
      utils vmtools switch open

admin:utils vmtools switch open
```

2. このコマンドは、vm-toolsを更新し、VMを再起動します。再起動後、utils vmtools statusを実行して、VMタイプを確認します。

```
admin:
admin:utils vmtools status
The vmtools installed on this server is running
Version: 10.1.5.59732
Type: open-vm-tools
admin:
```

ステップ5:CCP 15にアップグレードする

1. CCP 15のISOをダウンロードします([UCSInstall CCP 15 0 1 UCOS 15.0.1.10000-24.sgn](#))。
2. 15のCCP ISOファイルをダウンロードしたら、SFTPサーバに配置できます。
3. CLIを使用してCCPをアップグレードすることを常に推奨します。CLIを使用してCCPをアップグレードするコマンドは次のとおりです。

utils system upgrade initiate (ユーティリティシステムアップグレード開始)

4. アップグレード後に、指定されたコマンドを実行して、アクティブと非アクティブのパーティションを確認します。

show version active : 現在のバージョンを表示。

show version inactive : 新しいバージョンを表示。

```
admin:
admin:show version active
Active Master Version: 12.5.1.11003-470
Active Version Installed Software Options:
ciscoccp.1501.PREUPGRADE-ApacheSolandraMigration.170.cop
admin:
admin:
admin:show version inactive
Inactive Master Version: 15.0.1.10000-24
Inactive Version Installed Software Options:
No Installed Software Options Found.
admin:
admin:
```

ステップ6 : バージョンの切り替えの実行

utils systemスイッチバージョン

すべてのサービスが稼働していることを確認します。

```
admin:
admin:show version active
Active Master Version: 15.0.1.10000-24
Active Version Installed Software Options:
No Installed Software Options Found.
admin:
admin:
admin:show version inactive
Inactive Master Version: 12.5.1.11003-470
Inactive Version Installed Software Options:
ciscoccp.1501.PREUPGRADE-ApacheSolandraMigration.170.cop
admin:
```

ステップ7:GUIアクセスの確認

- アクセスするマシンのIPがpermit-listの下にあるかどうかを確認します。

utils permitlist admin\_uiリスト

- 必要に応じて、許可リストにIPアドレスを追加または削除します。

utils permitlist admin\_ui add

utils permitlist admin\_ui delete

## ステップ8:UCCXサーバからのCCPステータスの確認

1. Cisco Unified CCX Administration -> Subsystems -> Chat and Email -> CCP ConfigurationでUCCXサーバとの統合を確認し、すべてのコンポーネントのCCP Statusが緑色で表示されていることを確認します

2. アップグレード後にUCCXとCCPの間でTomcat証明書が正しく交換されていることを確認します。

3. 電子メールサーバおよびチャットサーバとの統合を確認する

12.5(1)、12.5(1) SU1、および12.5(1) SU2からのアップグレードパスをサポート

他のサポート対象バージョンからのアップグレードパスに関する情報は次のとおりです

Table 3. Release Versions and COP Files for Customer Collaboration Platform

Version	Release 15.0 Pre-Upgrade COP Name
12.5(1)	ciscoccp.keymanagement.v01.cop.sgn ciscoccp.15.0.PREUPGRADE- ApacheSolandraMigration.170.cop.sgn
12.5(1) SU1	ciscoccp.keymanagement.v02.cop.sgn ciscoccp.15.0.PREUPGRADE- ApacheSolandraMigration.170.cop.sgn
12.5(1) SU2	ciscoccp.keymanagement.v02.cop.sgn ciscoccp.15.0.PREUPGRADE- ApacheSolandraMigration.170.cop.sgn
12.5(1) SU3	ciscoccp.15.0.PREUPGRADE- ApacheSolandraMigration.170.cop.sgn

[ciscoccp.keymanagement.v01.cop.sgn](#)

[ciscoccp.keymanagement.v02.cop.sgn](#)

バージョン15にアップグレードする前に、現在のバージョンに適切なアップグレード前のCOPファイルをインストールし、その後、このドキュメントで前述したのと同じ手順を実行します。

## 参照資料

[Cisco Customer Collaboration Platformインストールおよびアップグレードガイド、リリース15.0](#)

[Cisco Customer Collaboration Platform \(旧称SocialMiner\) の仮想化](#)

[15のUnified CCXソフトウェア互換性マトリックス](#)

[Cisco Unified Contact Center Expressソリューション、リリース15.0のリリースノート](#)

[SocialMinerのポート使用率](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。